

公益社団法人 日本水産学会
平成 30 年度第 1 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 30 年 3 月 10 日(土) 13 時 00 分～15 時 26 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス 2 号館 200A-2 (東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数

総数 20 名, 定足数 11 名

- 4 出席理事総数 14 名

(本人出席) 秋山秀樹, 荒井克俊, 荒井修亮, 菅野信弘, 木島明博, 佐藤秀一, 青海忠久, 塚本勝巳, 萩原篤志,
山下 洋, 山本民次, 良永知義, 和田時夫, 中田英昭

(監事出席) 青木一郎, 北田修一

(幹事出席) 糸井史朗, 岩田繁英, 小林武志, 近藤秀裕, 芳賀 穰, 濱崎活幸

- 5 議 案

決議事項

第 1 号議案 「平成 30 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等」の件

第 2 号議案 「日本水産学会誌の配布中止に関する理事会方針」の件

第 3 号議案 「水産利用懇話会委員会委員及び幹事の選任」の件

第 4 号議案 「水産教育推進委員会委員の追加」の件

第 5 号議案 「男女共同参画推進委員会委員の追加」の件

第 6 号議案 「平成 30 年度秋季大会業務委託業者」の件

第 7 号議案 「平成 31 年度春季大会」の件

第 8 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 7 回理事会以降の職務執行の状況

その他

- 6 議事の経過及びその結果

- (1) 定足数の確認等

塚本会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

- (2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき, 塚本会長が議長となり, 本会議の成立を宣言し, 議案の審議に移った。

- (決議事項)

第 1 号議案 「平成 30 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等」の件(別紙 1)

良永総務担当理事より, 平成 29 年度事業報告について原案の説明があった。

この件について, 以下の質疑応答があった。

荒井(克)理事「近畿支部のみ, 一般研究発表ではなく, 研究テーマに関するプレゼン, となっている特段の理由はあるのか。」

荒井(修)理事「前年度に支部コンという形で名前を出したが砕けすぎているとの指摘があったためこのような形にした。」

審議の結果, 出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

さらに, 萩原財務担当理事より, 貸借対照表, 正味財産増減計算書及び財産目録について, 平成 29 年度決算書類(貸借対照表, 正味財産増減計算書及び財産目録)の原案の説明があった。青木監事から監査

結果の説明があった。

この件について、以下の質疑応答があった。

北田監事「決算書類中のFSのRoyaltyに関して為替の影響が含まれている可能性について説明があった。

契約は外貨建てになっているという理解でよいか。」

良永理事「Royalty に関して、為替も一つの要因だが他にも要因があると推測される。Springer に Royalty に関する説明を求めても回答がない。」

北田監事「為替が Royalty 収入にどのように影響するか、次回契約時に確認しておく必要がある。」

良永理事「為替が Royalty 収入に与える影響については今後も Springer に働きかけて明らかにしていく必要がある。」

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

第2号議案 「日本水産学会誌の配布中止に関する理事会方針」の件

良永総務担当理事より、原案が説明された。

この件に関して、以下の質疑応答があった。

北田監事「日本水産学会の完全電子ジャーナル化に対する基本方針を出さなくてもよいか。」

良永理事「今回は配布中止ということだけを実施するので、その点を報告する予定である。」

塚本会長「今後の方針について固めて報告するのは次回以降の理事会で決めてもらう。」

審議の結果、原案を一部修正のうえ、出席理事全員一致で修原案を可決した。

第3号議案 「水産利用懇話会委員会委員及び幹事の選出」の件

良永担当理事より、原案が説明され、審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[選出]

委員長 森 司

副委員長 菅野信弘、前川貴浩

委員 青木仁史、芦田慎也、石内幸典、潮 秀樹、大村裕治、岡崎恵美子、金庭正樹、神部武重、久田 孝、國本弥衣、久保田光俊、黒瀬光一、佐藤 繁、設樂弘之、下條 学、武田 淳、田中幹雄、平塚聖一、松永茂樹、松宮政弘

幹 事 井上菜穂子

第4号議案 「水産教育推進委員会委員の追加」の件

良永総務担当理事より、原案が紹介され、審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[選出] 上田勝彦

第5号議案 「男女共同参画推進委員会委員の追加」の件

良永総務担当理事より、原案が紹介され、審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

[選出] 市野川桃子

第6号議案 「平成30年度秋季大会業務委託業者」の件

山本中国・四国支部担当理事より原案の説明があった。

この件について、以下の質疑応答があった。

萩原理事「要旨を冊子体で配布するかどうかは理事会で議論しないのか。」

良永理事「理事会で議論してもよい。」

和田理事「国際的流れであるのでUSB等で配布してもよいのではないか。」

佐藤理事「85周年の要旨は印刷すると分量が多くなってしまうためUSBで配布した。」

山本理事「大会の運営委員会に任せてもらえれば、運営委員会として、やりやすいように実施できるがど

うか。」

良永理事「大会に関する収支は黒字なので費用の削減ができれば参加費の削減にもつながるのではないか。」

山本理事「要旨集のUSB化については諸々含めて検討したい。」

審議の結果、トーヨー企画㈱に平成30年度秋季大会の運営を委託することを出席理事全員一致で可決した。また、講演要旨集の配布方法に関して平成30年度秋季大会実行委員会に一任することを出席理事全員一致で可決した。

第7号議案 「平成31年度春季大会」の件

菅野担当理事より「平成31年度春季大会」について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で次のとおり可決した。

日程 平成31年3月26日(火)～30日(土)

場所 東京海洋大学品川キャンパス

大会委員長 岡崎恵美子(海洋大)

第8号議案 入会の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案のとおり可決した。

(報告事項)

第3回理事会以降の職務執行の状況

・会長

塚本会長 特になし。

・庶務関係

良永担当理事より、次の報告があった。

1) 平成29年度資格喪失者について

2) 協賛について

食品ハイドロコロイドセミナー2018

主催 食品ハイドロコロイド研究会

協賛 化学工学会 他23学協会

日程 平成30年5月31日(木)

場所 京都大学化学研究所共同利用・共同研究拠点(京都府宇治市)

希望 協賛

負担金 なし

第29回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主催 食品ハイドロコロイド研究会

協賛 化学工学会 他23学協会

日程 平成30年6月1日(金)

場所 京都大学化学研究所共同研究棟大セミナー室(京都府宇治市)

希望 協賛

負担金 なし

14th International Chitin and Chitosan Conference (14th ICC) & 12th Asia-Pacific Chitin and Chitosan Symposium (12th APCCS) Joint with 32th Japanese Society for Chitin and Chitosan Conference

主 催 日本キチン・キトサン学会
協 賛 日本化学会 他 16 学協会
日 程 平成 30 年 8 月 27 日 (月) ~ 30 日 (木)
場 所 関西大学第 4 学舎 4 号館 (大阪府吹田市)
希 望 協賛
負担金 なし

3) Fisheries Science 出版費用について

Fisheries Science 出版費用に関して 3 社から提示された見積条件と金額を紹介した。

この件について下記の質疑応答があった。

北田監事「契約に向けての判断資料が揃ったと思う。最終的に契約する時期はいつ頃を想定しているか。」
良永理事「現体制の理事会では方針を示すだけで、Springer との契約は次の体制の理事会で行うことになる。」

・企画広報関係

佐藤担当理事より次の報告があった。

- 1) 第 1 回委員会を 3 月 7 日に開催した。今後は、高校生ポスター発表の内容を紹介する企画やホームページの刷新を実施する予定であることを委員会において説明した。
- 2) 第 2 回委員会を春季大会中に開催する。

・財務関係

萩原担当理事より日本水産学会短時間勤務有期雇用職員の時給を改正する旨、報告があった。

・編集関係

中田担当理事より春季大会中に委員会を開催する旨、報告があった。

・学会賞関係

荒井(克)担当理事より、春季大会中の 3 月 27 日に委員会を開催する旨、報告があった。

・シンポジウム関係

木島担当理事 特になし。

・出版関係

木島担当理事 特になし。

・水産技術誌監修関係

秋山担当理事から次の報告があった。

- 1) 平成 29 年度第 2 回委員会を開催した。
- 2) 2018 年 3 月下旬に水産技術第 10 巻を発行する。
- 3) 編集補助業務のアウトソーシングに係る契約に関しては平成 30 年 3 月末までに行う。

・国際交流関係

和田担当理事 特になし。

・水産教育関係

荒井(克)担当理事 特になし。

・水産政策関係

山下担当理事 特になし。

・漁業・資源管理関係

荒井(修)担当理事より次の報告があった。

1) 漁業懇話会委員会の新委員長を鹿児島大学の江幡会員，副委員長を東京海洋大学の塩出会員，幹事を鹿児島大学の石崎会員が担当する。

2) 漁業懇話会委員会を春季大会中の3月26日に開催し，その後に第70回漁業懇話会講演会「沿岸漁業 季節変動に対応する漁業技術とは？」1号館13番教室で開催し，漁業研究者の集いを生協二階で開催する。

・水産利用関係

菅野担当理事より，春季大会中の3月28日に委員会を開催する旨，報告があった。

・水産増殖関係

木島担当理事より，春季大会中の3月29日に委員会を開催する旨，報告があった。

・水圏環境関係

山下担当理事 特になし。

・男女共同参画関係

佐藤担当理事 特になし。

・社会連携関係

塚本会長 特になし。

・将来計画関係

青海担当理事より，春季大会中の3月26日にシンポジウムを開催する旨，報告があった。

・北海道支部，地域連携関係

塚本会長 特になし。

・東北支部，地域連携関係

秋山担当理事より，2月16日に支部総会・例会を開催した旨，報告があった。

・関東支部，地域連携関係

菅野担当理事より次の報告があった。

1) 春季大会の事前登録者が996名，口頭476件，ポスター256件であった。高校生発表は78件と昨年比で20件ほど増加した。

・中部支部，地域連携関係

古丸担当理事 特になし。

・近畿支部，地域連携関係

荒井(修)担当理事より報告があった。

1) 支部長が近畿大学の家戸会員に交代することになった。2月28日付で会計処理を済ませた。

・中国・四国支部，地域連携関係

山本担当理事より報告があった。

1) 次期は水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所が支部事務の担当になるため引継ぎを行い，会計処理を済ませた。

・九州支部，地域連携関係

中田担当理事 特になし。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

佐藤担当理事より，次の英文書籍は現在著者校正が進行中である旨，報告があった。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）

山下担当理事より，3月30日に第1回委員会を予定している旨，報告があった。

- ・水産学若手の会（特別委員会）
塚本会長より報告があった。
 - 1) 春季大会中にナイトポスターセッションを準備している。
 - 2) 若手の会主催のシンポジウムを企画している。
- ・日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会（特別委員会）
青海担当理事 特になし。
- ・財務検討委員会（特別委員会）
萩原担当理事より報告があった。
 - 1) 各委員会の財務状況についてメール会議にて議論を行った。委員会によっては委員数が多い可能性があるため担当理事に意見を伺いたい。
- ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係
塚本会長 特になし。
その他確認事項
- ・引継ぎ事項について
塚本会長より未提出の理事に早急に提出するように依頼があった。
- ・学会賞受賞者講演の座長と会場係について
山本理事より座長交代の申出があり、3月29日の第4会場(13:00-13:40, 13:40-14:20)の座長は萩原理事が担当することとなった。
- ・委任状の回収について
良永総務担当理事より、各理事に対し平成30年度社員総会の委任状について回収の協力依頼があった。
- ・次回の理事会について
良永総務担当理事より、平成30年度第2回理事会を3月26日15時より東京海洋大学品川キャンパスで開催する予定であることを確認した。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時26分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

平成30年3月10日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監事

監事